

令和6年度第3回たつの市子ども・子育て会議

会議録（概要）

日 時	令和7年2月21日（金） 13:30～15:00
場 所	たつの市役所 新館4階災害対策本部兼大会議室

審議経過

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 たつの市こども・若者計画（令和7～11年度）素案について
- 4 議事

（1） たつの市こども・若者計画（令和7～11年度）（案）について

事務局より変更点説明 資料1

主な意見（抜粋）

- ・気軽に相談できる環境の必要性
- ・発達障害等のこどもを育てる家庭に対する支援の充実
- ・子育ての悩みを相談できずに孤立してしまうことへの対応の必要性
- ・社会福祉協議会等の関係機関との連携の重要性

委員：子育て支援においては、指定管理や委託事業も含まれるため、社会福祉協議会等の関係機関との連携は今後も重要なものになると思う。計画にも関係機関に関する内容が盛り込まれていることを確認できた。

委員：兵庫県では、SNSを用いた窓口を開設し、スマートフォンで相談ができるようになっている。こうした窓口から県に相談があれば、市に情報共有することで連携している。

委員：個別的な事案の対応について複数の部署で情報共有する際、共有する情報の範囲については考えていかななくてはならないように思う。

委員：学校では不登校の生徒が増加している。こどもが学校に行きたくなるような環境づくりが重要で、サポートルームの設置等に取り組んでいる。また、タブレット端末で、実際の自分の教室の様子を見られるようにしている。こうした取り組みの中で、授業に出席できるようになったりする子どももたちもいる。

委員：民生委員がなかなか地域に入っていきづらい状況がある。その中でも、民生委員に寄せられる相談というのは全体の一部であって、他にも悩みを抱えておられると思う。その中で、市や教育機関など様々な関係機関と連携して支援に取り組んでいくことが必要だと思う。

委員：子どもの療育に関して、検査を受けようとしても、数か月も待たなくてはならない状況で、対応できる医師も不足していると感じる。検診等による早期発見が大切だと思う。

委員：これまでの会議において議論してきた内容を計画に反映してもらい、よりよいものになったと思う。また、地域では民間ならではの柔軟な発想を活かして活動している支援団体があるこ

とにも注目したい。

(2) たつの市こども家庭センターすくすくにおける相談状況について

こども家庭センターすくすく職員より令和6年度相談件数及び相談内容の説明 資料2

5 その他

6 閉会